

## 「さしきづな」(第一時)

言葉の意味調べ

はぎのかぶ	川べり	ただのとき	すすきのほ	つつみ	もず	百姓家	菜種がら	ほりちらしたり	あたりの村	しげつた	しだ
-------	-----	-------	-------	-----	----	-----	------	---------	-------	------	----

つぐない	うひ口	といじつじて	かみしも	そうれつ	きれ	のぼり	お宮	かみをすいて	かじ屋	お歯黒	家内	いちじく	お百姓
------	-----	--------	------	------	----	-----	----	--------	-----	-----	----	------	-----

ぬすびと	月のいいばん	つれ立て	かげぼうし	あわれ	引き合わない	縄をなつて	なや	土間	目をおどす	つひ口	
------	--------	------	-------	-----	--------	-------	----	----	-------	-----	--

「山葉の意味調べ」

「いんきつね（第一時）」

しだ	しめりけをこのむ植物	横だおし
しげつた	たくさん生えた	横にたおれて
あたりの村	近くの村	川下
ほりちらしたり	ほってまわりにちらかす	川の下の方
菜種がら	なの花の種を取った後のカラ	まくし上げて
百姓家	農家	まくつて上にあげて
もず	秋に鳴く鳥	はりきりあみ
つうみ	川の水があふれないよう土をもつた所	魚をとるためのあみ
すすきのほ	秋に実を付けるすすきの実の部分	はぎの葉
ただのとき	いつも・ふつうのとき	はぎという植物の葉っぱ
川べり	川のはじ	しばの根
はぎのかぶ	はぎという植物の根本	しばといふ植物の根っこ

はんの木	田の近くによく植えられる木	下手	川上	びく	きす	木切れ	木のきれはし	しばといふ植物の根っこ	横だおし
どなり立て	おひつて	ぬすいと	どろぼう	川の下の方	川の上の方	魚をいれるか」	魚	はぎの葉	横にたおれて

お百姓	いちじく	いちじく
家内	家内	ぐだもの
お歯黒	お歯黒	妻・奥さん
かじ屋	かじ屋	農具や工具をつくる人
かみをすいて	かみをすいて	結婚式や葬式のときのお化粧
お富	お富	神社
のぼり	のぼり	はた
きれ	きれ	布
かみしも	かみしも	現代のスーツ
そうれつ	そうれつ	葬式に出ている人の列
といじつじて	といじつじて	病気になつて
うら戸口	うら戸口	家の裏の出入り口
つぐない	つぐない	悪いことをしたかわり

ぬすびと	月のいばん	月のきれいな夜
つれ立て	かげぼうし	一緒に歩いて
あわれ	かわいそだと思うこと	かげ
引き合わない	わりに合わない・デメリットが大きい	
縄をなつて	縄をあんで	
なや	物置小屋	
土間	げんかん	
目をおとす	下をむく	
つつ口	てつぼうの先	

## 第一場面

○「んは、どんないたずらをしていましたか。三つ書きましょう。

○登場人物の感情を考えましょう。

①いたずらをしているごんの感情

②雨の中、あなの中にしゃがんでいるごんの感情

③うなぎを うばわれた 兵十の感情

④あなたにもどつてきた ごんの感情

ふりかえり

第一場面

○「んは、じつじて「そうしきだ。」と考えたのですか。

○登場人物の感情を考えましょう。

①六地蔵のかげにかくれているごんの感情

②おつかあが死んでしまった兵十の感情

③あなたの内で考へてあるごんの感情

○どうして、ごんは「いたずらをしなけりやよかつた。」と考えたのでしょうか。

○ふりかえり

第三場面

○登場人物の感情を考えましょう。

①兵十のうちに、いわしを投げこんだごんの感情

②兵十がいわし屋にぶんぬぐられたとしつたごんの感情

③兵十のうちへ くりをとどけるごんの感情

○ふりかえり

#### 第四・五場面

○登場人物の感情を考えましょう。

①加助と話をしている兵十の感情

②兵十と加助が話しているのを聞いているごんの感情

③加助が兵十に「神様がいろんな物をめぐんでくださるんだよ。」と言ったときのごんの感情

○ふりかえり

## 第六場面

○登場人物の感情を考えましょう。

①きつねがうちの中へ入ったのをみた兵十の感情

②いつもくりをくれたのが、ごんだと気づいた兵十の感情

③目をつぶったまま、うなずいたごんの感情

○一番かわいそなのは、ごんでしょうか、兵十でしょうか。

○物語の学習を終えて